

# 2024年同窓会総会・懇親会の報告

■開催日:2024年10月26日(土) ■場所:のがみプレジデントホテル



総会では提出された全議案が可決され、役員改選による新役員も紹介されました。懇親会のオープニングでは吹奏楽部による演奏、その後校旗入場、そして当番51回生による開会宣言により、待ちわびた時間の幕が開きました。

花田同窓会会長並びに来賓の方々によるご挨拶、そして乾杯。まず還暦を迎える35回生の写真撮影で宴は始まり、ステージは真っ赤なちゃんちゃんこで鮮やかに彩られました。

続いて14回生による詩吟の披露があり、これには11回生方も飛び入り参加、その後29回生と44回生によるハワイアンフラダンスで華やかなステージイベントとなりました。当番生による御神楽演奏とアトラクションは続き、お待ちかねの福引抽選会が賑やかにスタート、会場のあちこちで「やったー!」「当たったー!」の歓声が響き渡りました。

次回当番生の52回生への引継式を行った後、応援団演奏、そして吾



が道通歌と校歌を会場内でひとつの円になって全員で肩を組んで斉唱し、まさに同窓の絆を感じた瞬間でした。

小川福岡支部長による万歳三唱、最後の開会宣言では51回生の大庭実行委員長が会場中央の台に上がって、来場者全員に向かってお礼のご挨拶、来場者を感動の渦に!旧役員から花束をいただくサプライズも。

今回当番51回生の皆さんは新たな試みで「当番生負担金」を徴収しないという選択のもと、多くの苦勞を経てここまで辿り着きました。本当にお疲れ様でした、そして素晴らしい感動をありがとうございました。

広報部部长 辻塚 恵子(高校42回生)

## 同窓の絆を

## 感じた瞬間



## 同窓生の活躍

◎作業療法士になろうと思ったきっかけは?  
↓高齢社会や怪我病気の方々を手伝いたいという思いから「人と関わる仕事に関心を持ちました。さらに、身近に医療従事者がいたことや、自身のスポーツ経験での怪我を通して医療を身近に感じたことがきっかけで、療法士の道を選びました。その結果、現在は精神科病院で作業療法士として働いています。

◎認知症初期集中支援チーム(オレンジチーム)ではどんな活動をされていますか?  
↓オレンジチームは、医師と医療介護福祉の専門職からなるチームです。認知症の人またはその疑いのある人や、そのご家族を訪問し、本人の様子の確認や家族への助言を行い、必要な医療や介護サービスの利用のサポートにつなげます。チームの普及活動、地域貢献活動として、包括支援センターからの依頼を受け認知症予防教室を実施しています。

◎簡単にできる認知症予防は?  
↓「コグニサイズ」というものがあります。運動と認知課題(計算しりとりなど)を組み合わせた運動法です。脳を刺激しながら運動を行うことで脳機能が活性化し、認知症予防が期待できる  
といわれています。  
例えば・ウォーキングをしながら、しりとりや計算な



大阪在住  
作業療法士・関西支部幹事

### 宮有 雅浩さん(高校50回生)

↓これから歩む道の可能性は無敵大です。どんなことでも楽しんで取り組んでみて下さい。物事を被害的に捉えるのではなく、楽しさを見つけて、少し楽観的に構えて、無理せずボチボチ頑張る。笑顔の多い日々を送ってほしいと思います。

◎母校の生徒にメッセージを  
願っています。

◎在学中の思い出は?  
↓水泳部に所属していた当時、ハードな練習で、毎日クタクタな日々を送っていました。部は先輩後輩と仲が良く人間関係にも恵まれていて非常に楽しい時間を過ごせました。体育祭の部活動対抗リレーで水着を着て運動場を走り抜けたことも良い思い出です。  
1年1組のクラスメイトと文化祭で「○○ママのおはロック」を練習して披露したことなど、1組は個性豊かで毎日が楽しかったことも思い出します。



ど行う運動・椅子に座って足ふみをしながら、30まで数える。その際に、3の倍数の時に手を叩く。更に難易度を上げると、3と7の倍数の時に手を叩く。

◎高校卒業後は?  
↓福岡県外の専門学校へ進学しました。専門知識を学び、国家資格を取得。大阪で勤務24年が経過しました。自分と異なる人生経験を積まれた患者様にリハビリを提供していますがそれ以上に教わることも多く、充実しています。